

# 都市のリ・デザインによる バリューアップと官民連携手法

～大都市型、地方型の事例研究とフリンジ型都市に  
おけるリ・デザインの可能性～



2025年  
10月15日(水)  
17時～18時半

左：都市空間の立体利用の例  
(バルセロナ市のグロリエス公園では、道路を地下化し、9ヘクタールの公園が市民に開放された)  
写真出典：www.barcelona.cat

場 所

大阪公立大学文化交流センター ホール  
大阪駅前第2ビル6階 (裏面ご覧ください)

定 員

70名 申込締切 9/30(火)

講演

WS2「立体的に都市をリ・デザインする」報告

①「都市の公共空間と立体化の視点」 20分

京都大学大学院地球環境学堂 准教授 山口 敬太 氏

昨年度から始まったWS2の報告を座長の山口先生から問題意識や研究テーマに関する内容、とりまとめにあたっての関心事等を報告いただきます。



②「公民連携のまちづくりプロジェクトによる地域の価値向上」 40分

一般財団法人民間都市開発推進機構 (MINTO機構)  
常務理事 渡邊 浩司 氏

MINTO機構の使命、MINTO機構が関わった事例における事業スキーム解説を事例を踏まえてご紹介いただくとともに、公民連携のまちづくりプロジェクトにおける地域の価値向上についてご講演いただきます。



意見  
交換

意見交換 & 質疑応答 30分

講師2名とご参加の皆様で議論予定です